

4 寄付・ボランティアに関する意識調査

【調査の概要】

調査方法：メルマガ、ホームページ等により告知、ホームページ等により回答

調査時期：平成26年6～7月

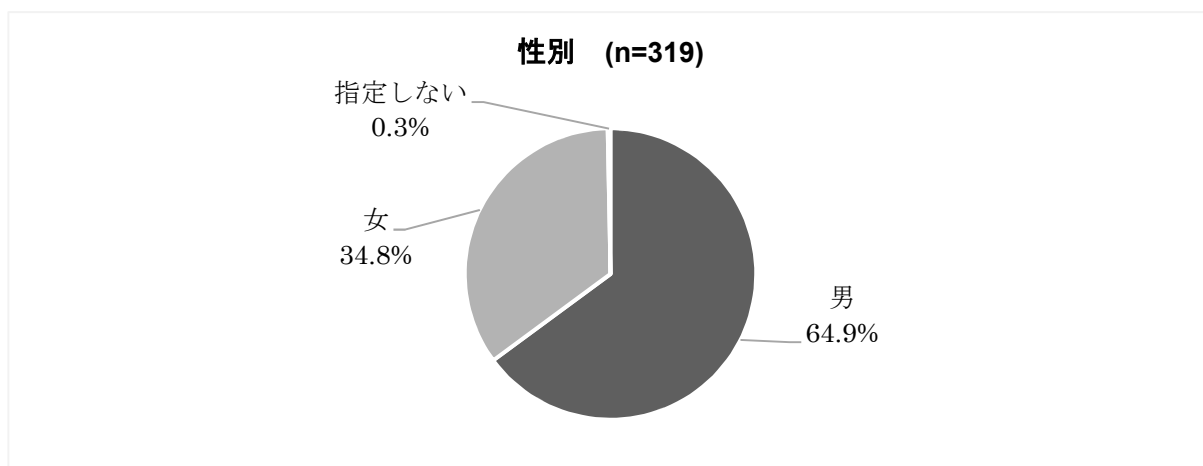
回収結果：有効回答数323

【結果の概要】

県民の寄付・ボランティアに関する現状についての調査結果は次のとおりです。

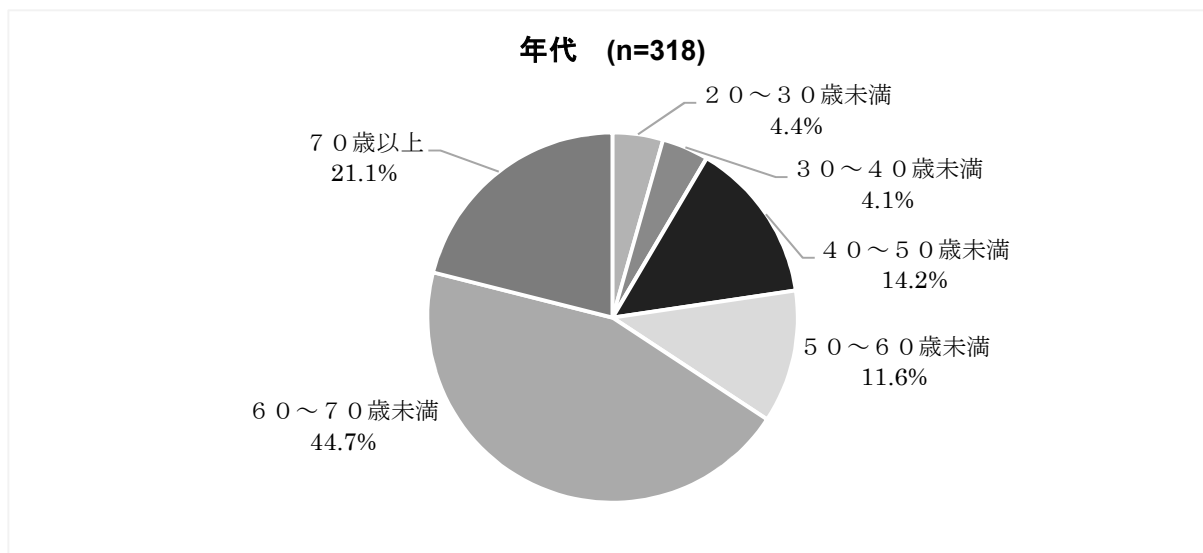
(1) 性別（単数回答）

回答者の性別は、下図のような結果となりました。



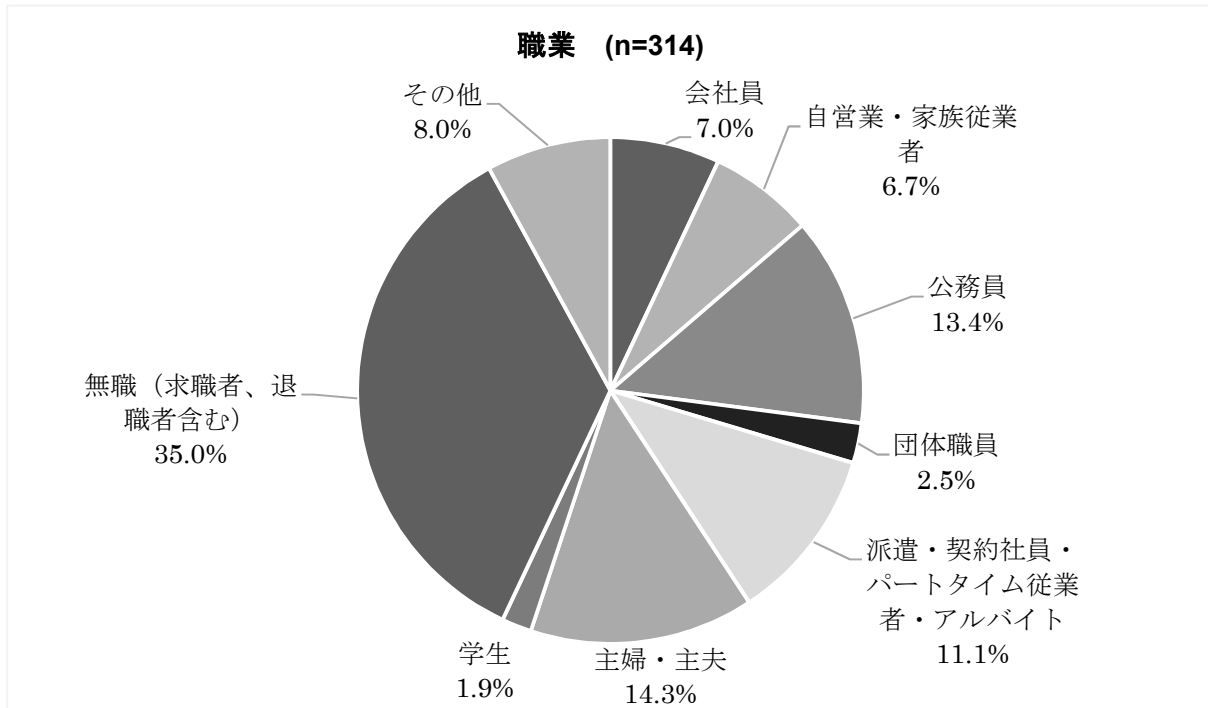
(2) 年代（単数回答）

回答者の年代は、下図のような結果となりました。



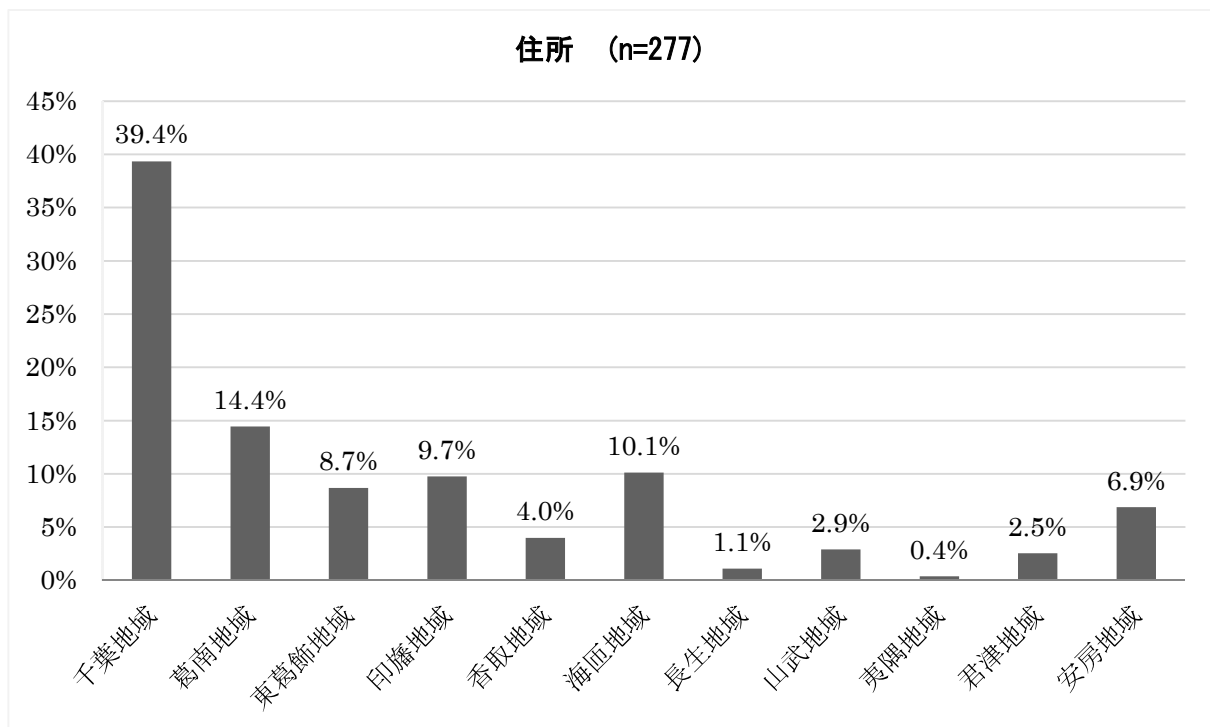
(3) 職種（単数回答）

回答者の職種は、下図のような結果となりました。



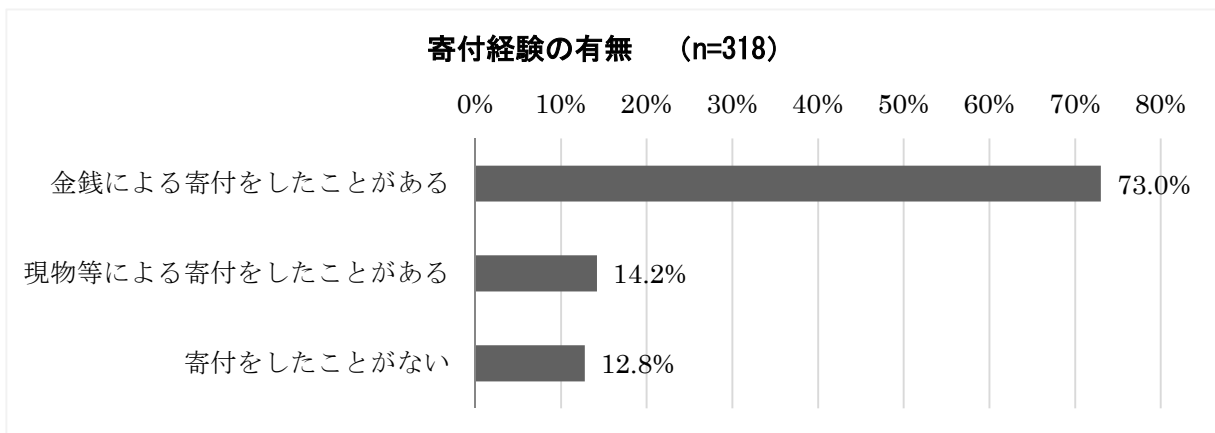
(4) 住所（単数回答）

回答者の住所（市町村）は、下図のような結果となりました。



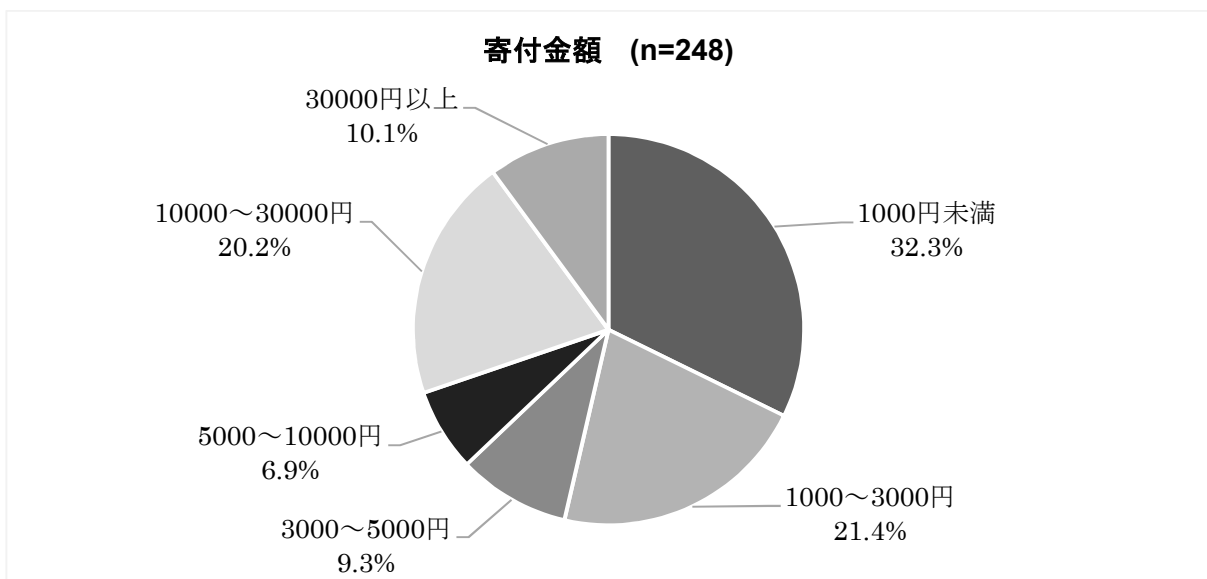
(5) 寄付経験の有無（複数回答）

これまで寄付（募金、現物寄付等を含む）をしたことがあるかどうかを尋ねたところ、下図のような結果となりました。金銭による寄付をしたことがある人は73.0%となっています。



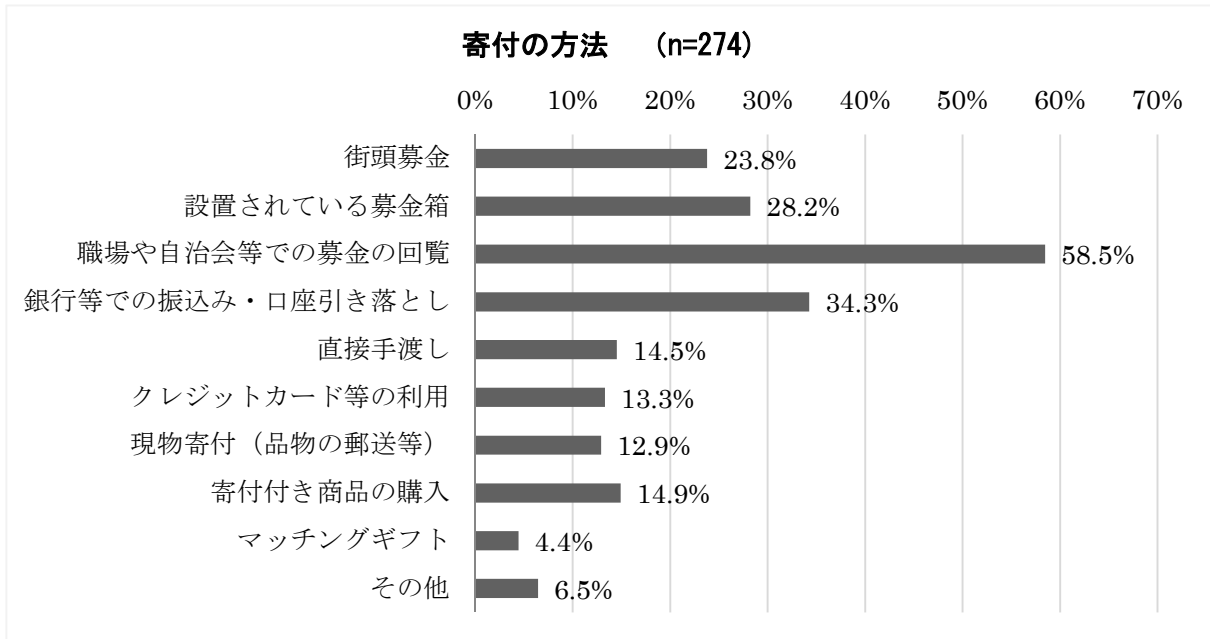
(6) 寄付の金額（記述回答）

寄付をしたことがある人に対して、平成25年度に寄付をした金額について尋ねたところ、下図のような結果となりました。最も多いのが「1000円未満」で、32.3%となっています。次に多いのが「1000～3000円」で、21.4%となっています。



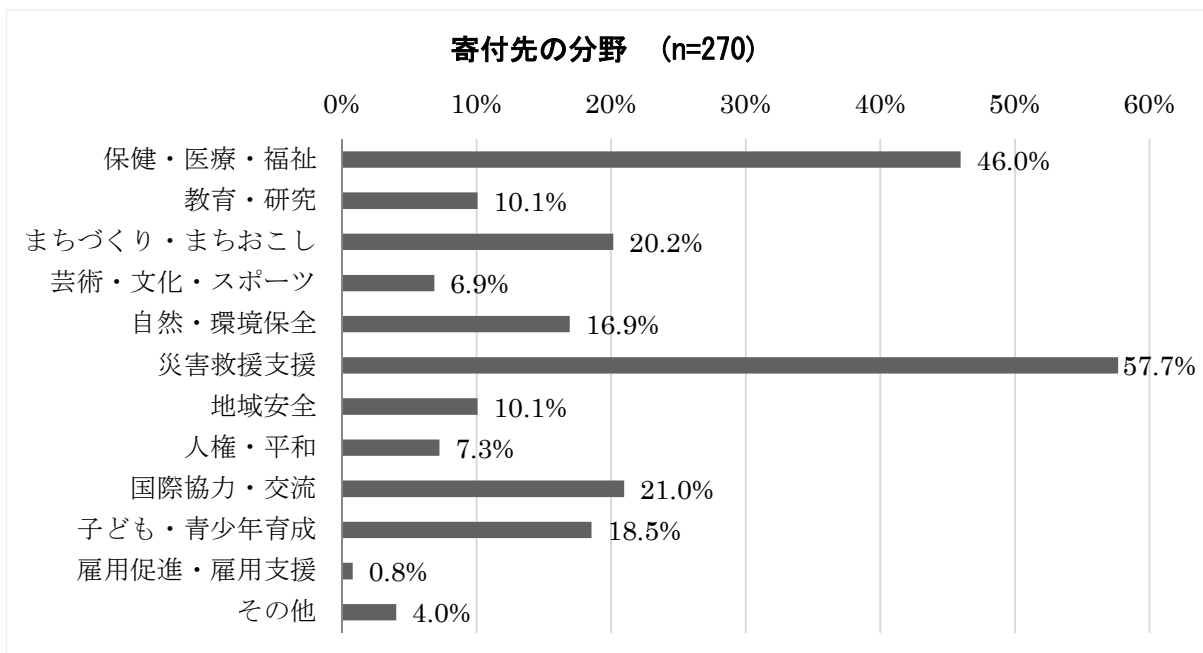
(7) 寄付の方法（複数回答）

寄付をしたことがある人に対して、寄付を行った方法を尋ねたところ、下図のような結果となりました。最も多いのが「職場や自治会等での募金の回覧」で、58.5%となっています。次に多いのが「銀行等での振込み・口座引き落とし」で、34.3%となっています。



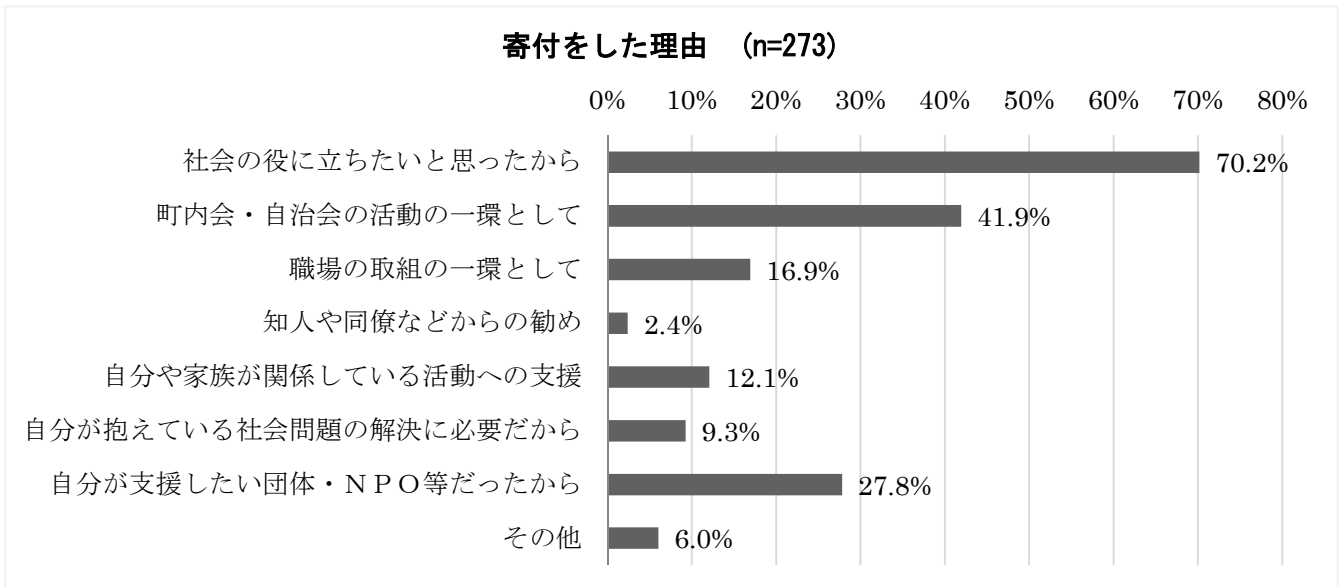
(8) 寄付先の分野（複数回答）

寄付をしたことがある人に対して、寄付をした分野を尋ねたところ、下図のような結果となりました。最も多いのが「災害救援支援」で、57.7%となっています。次に多いのが「保健・医療・福祉」で、46.0%となっています。



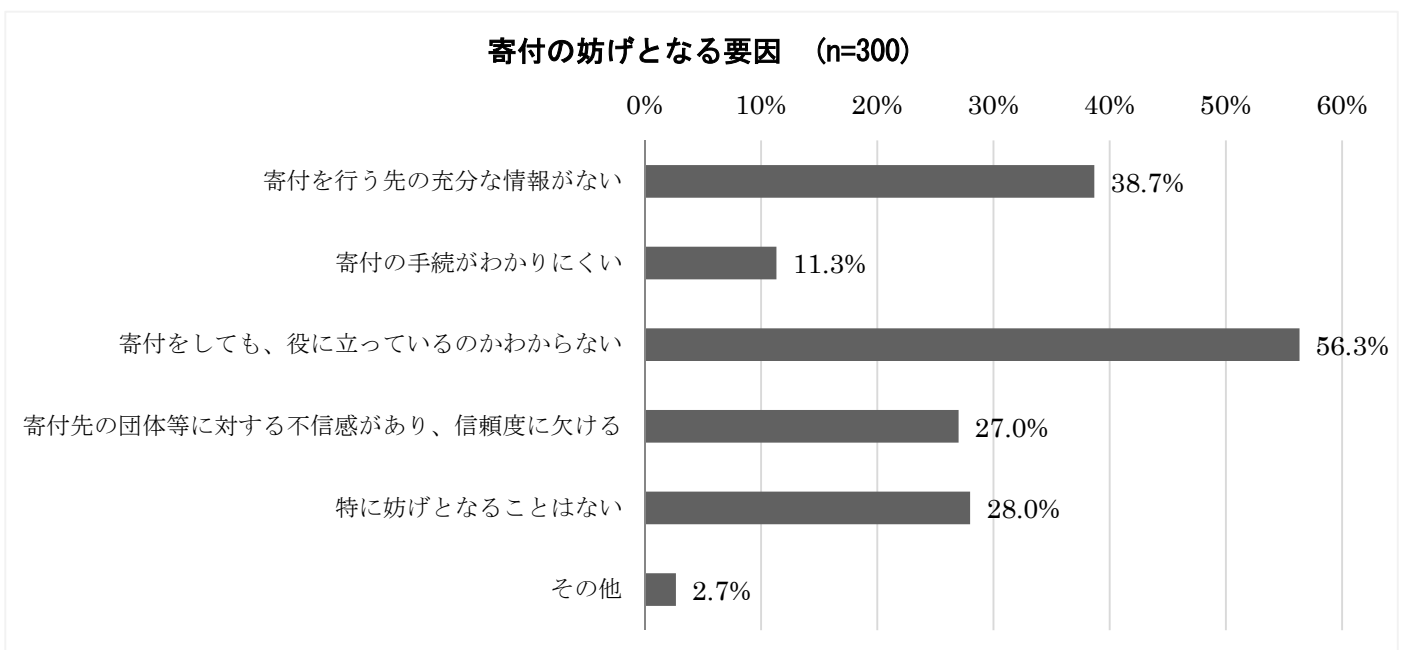
(9) 寄付をした理由（複数回答）

寄付をしたことがある人に対して、寄付をした理由を尋ねたところ、下図のような結果となりました。最も多いのが「社会の役に立ちたいと思ったから」で、70.2%となっています。次に多いのが「町内会・自治会の活動の一環として」で、41.9%となっています。



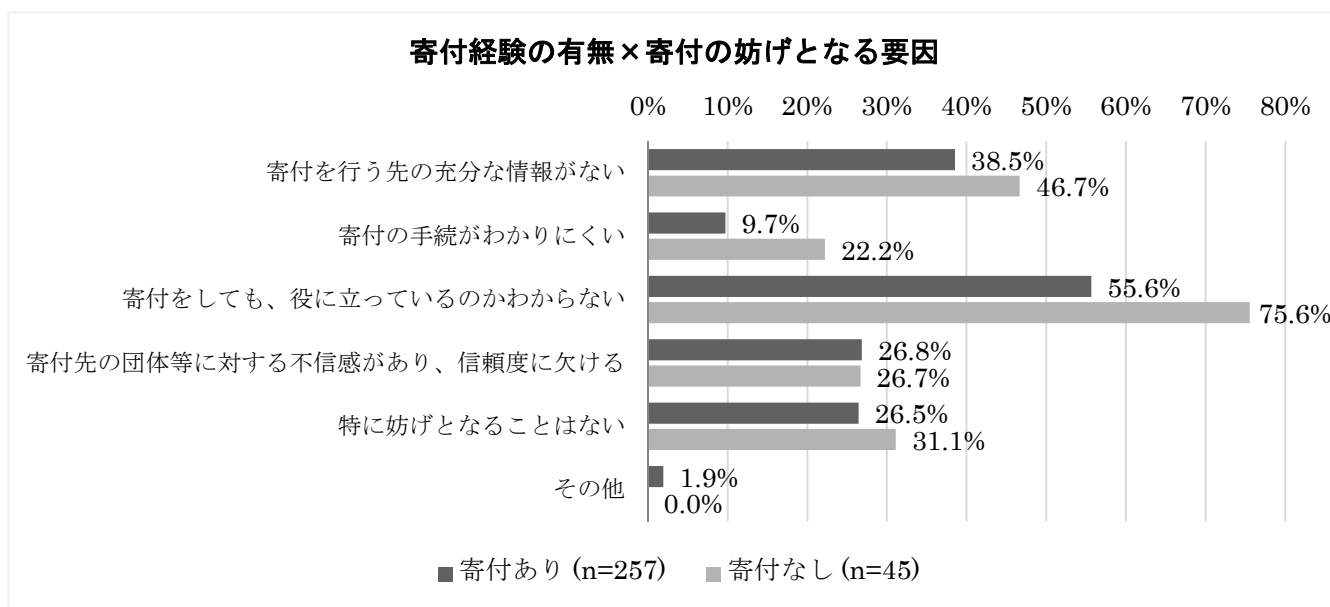
(10) 寄付の妨げとなる要因（複数回答）

寄付の妨げになっていることについて尋ねたところ、下図のような結果となりました。最も多いのが「寄付をしても、役に立っているのかわからない」で、56.3%となっています。次に多いのが「寄付を行う先の十分な情報がない」で、38.7%となっています。



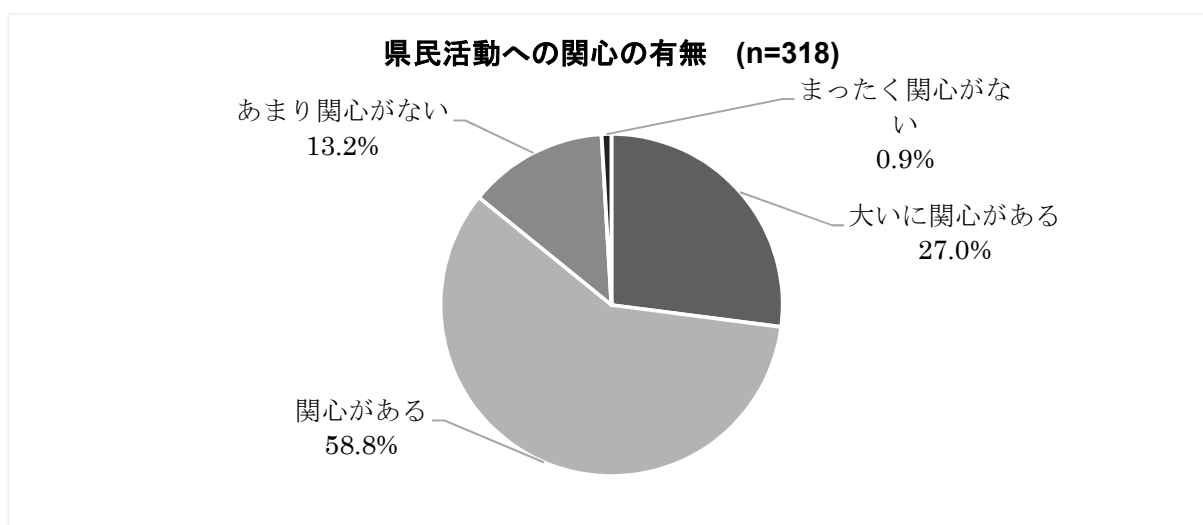
(参考) 寄付経験の有無 × 寄付の妨げとなる要因

寄付を妨げている要因について、寄付経験の有無にわけて整理したところ、下図のような結果となりました。寄付の経験の有無に関わらず、「寄付を行う先の十分な情報がない」「寄付をしても、役に立っているのかわからない」の回答が多いですが、特に寄付をしたことがない人ほどその傾向が顕著であることがわかります。



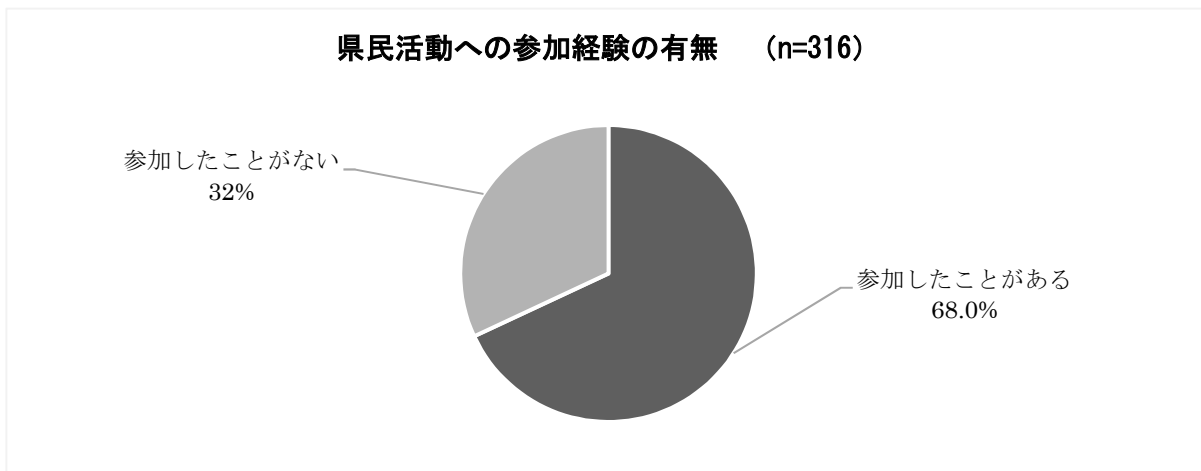
(11) 県民活動への関心の有無 (単数回答)

市民活動団体の活動、ボランティア活動への関心の有無を尋ねたところ、下図のような結果となりました。「大いに関心がある」は27.0%、「関心がある」は58.8%であり、関心があると回答した人は、両者をあわせて85.8%となっています。



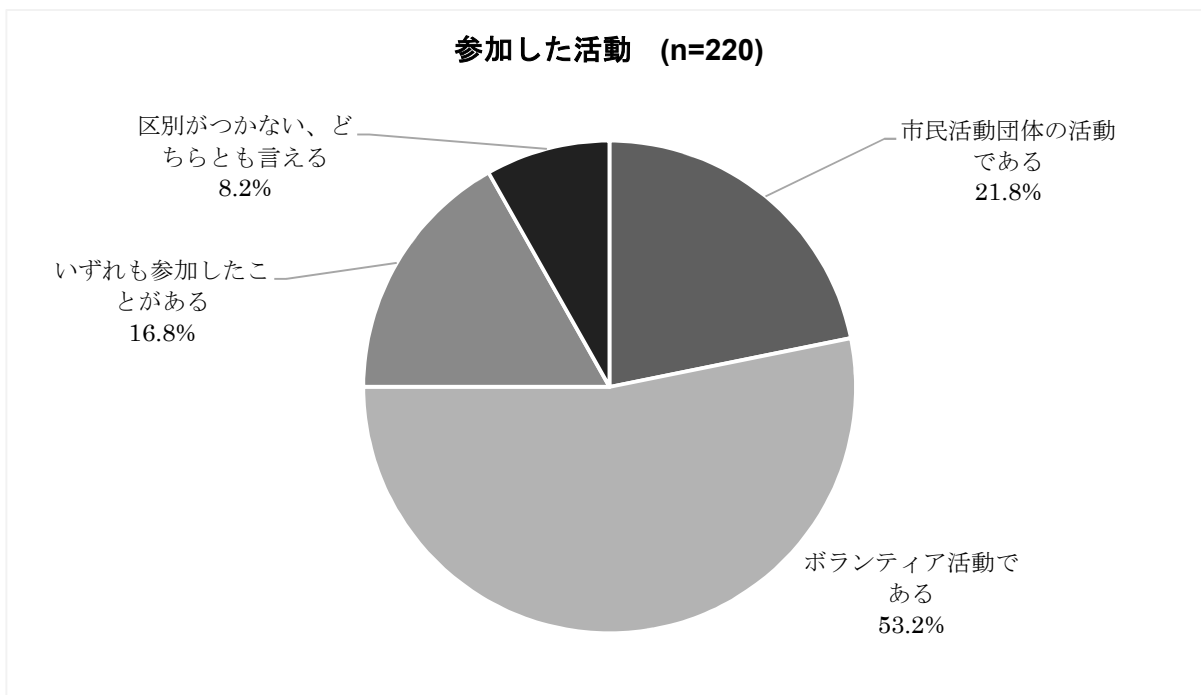
(12) 県民活動への参加経験の有無 (単数回答)

市民活動団体の活動、ボランティア活動への参加経験の有無を尋ねたところ、下図のような結果となりました。「参加したことがある」は68.0%となっています。



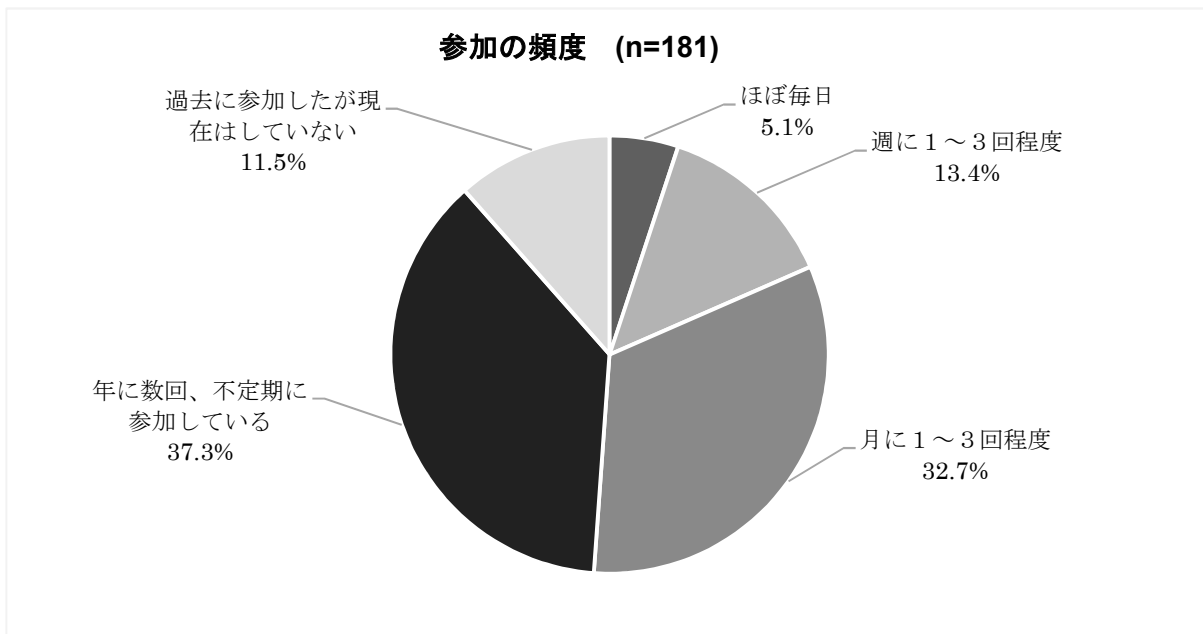
(13) 参加した活動 (単数回答)

県民活動に参加したことがある人に対して、参加した活動が市民活動団体の活動であるか、ボランティア活動であるかを尋ねたところ、下図のような結果となりました。「市民活動団体の活動である」と回答した人は21.8%、「ボランティア活動」であると回答した人は53.2%となっています。



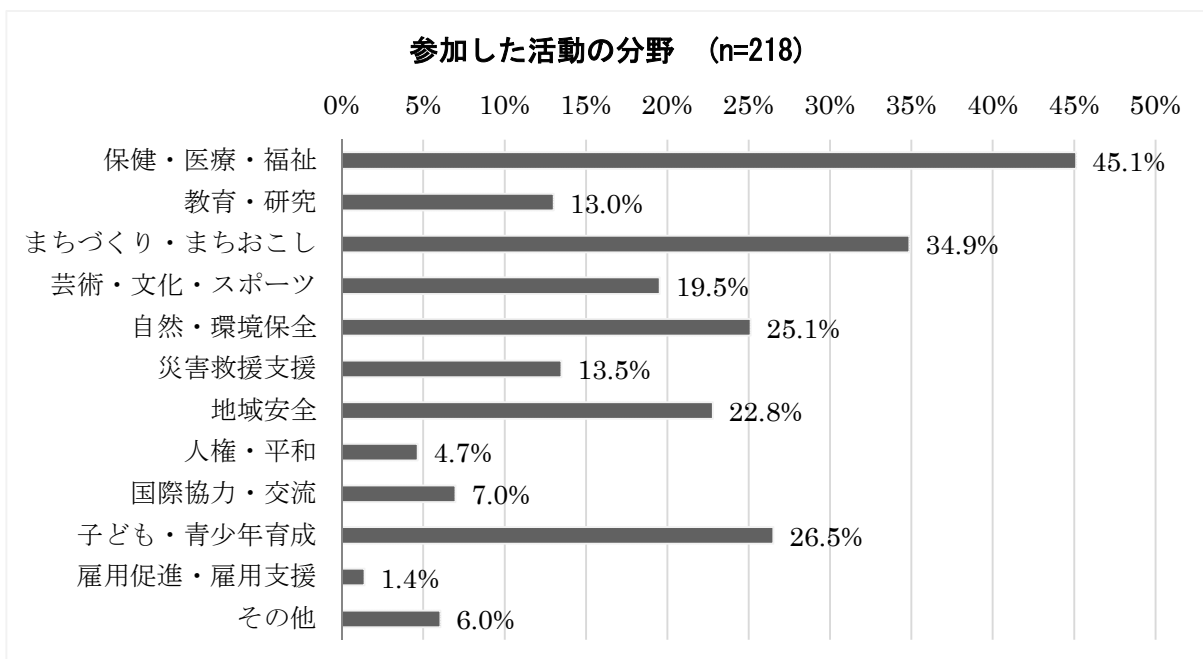
(14) 参加の頻度 (単数回答)

県民活動に参加したことがある人に対して、参加の頻度について尋ねたところ、下図のような結果となりました。最も多いのが「年に数回、不定期に参加している」で、37.3%となっています。次に多いのが「月に1～3回程度」で、32.7%となっています。



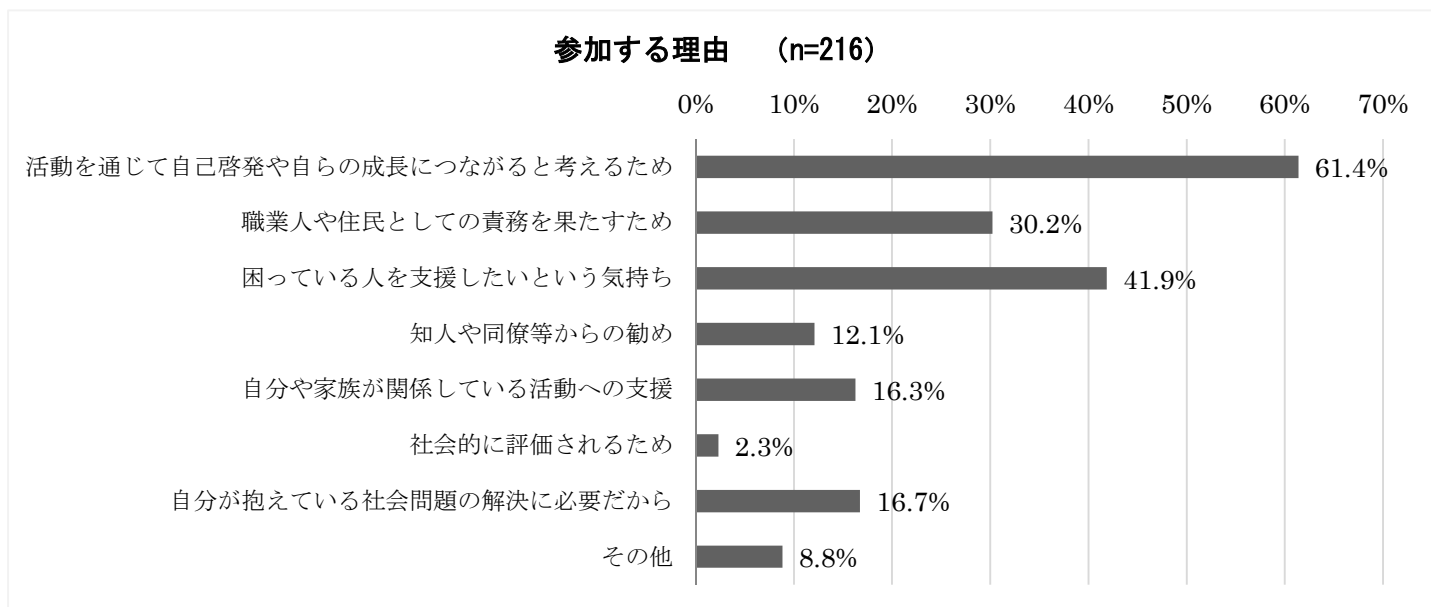
(15) 参加した活動の分野 (複数回答)

県民活動に参加したことがある人に対して、参加した活動の分野を尋ねたところ、下図のような結果となりました。最も多いのが「保健・医療・福祉」で45.1%となっています。次に多いのが「まちづくり・まちおこし」で、34.9%となっています。



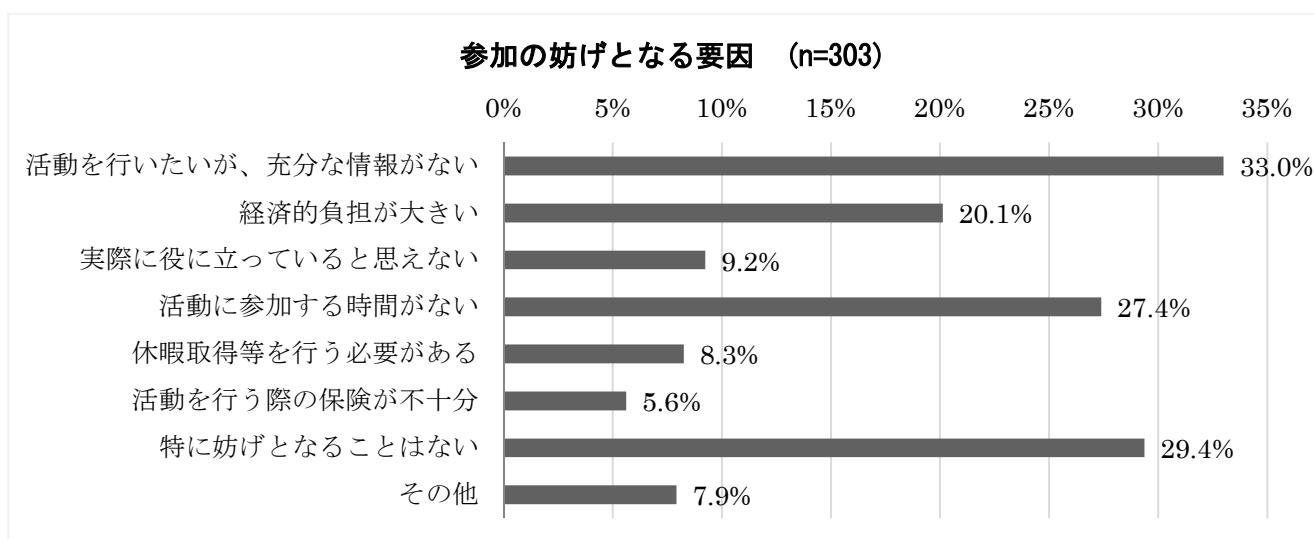
(16) 参加する理由（複数回答）

県民活動に参加したことがある人に対して、活動に参加する理由を尋ねたところ、下図のような結果となりました。最も多いのが「活動を通じて自己啓発や自らの成長につながると考えるため」で61.4%となっています。次に多いのが「困っている人を支援したいという気持ち」で、41.9%となっています。



(17) 参加の妨げとなる要因（複数回答）

県民活動に参加することに妨げとなることを尋ねたところ、下図のような結果となりました。最も多いのが「活動を行いたいが、十分な情報がない」で33.0%となっています。次に多いのが「特に妨げとなることはない」で、29.4%となっています。



(参考) 県民活動への参加経験の有無×参加の妨げとなる要因

県民活動への参加を妨げている要因について、参加経験の有無にわけて整理したところ、下図のような結果となりました。参加経験のある人については「特に妨げとなることはない」という回答が最も多く、参加経験のない人については、「活動を行いたい、十分な情報がない」「活動に参加する時間がない」の回答がそれぞれ41.6%、36.6%と多いことがわかります。

